

2011 年度 小委員会活動成果報告

(2012 年 2 月 21 日作成)

小委員会名	各部構法設計小委員会		主 査 名：角田 誠 就任年月：2008 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画委員会 (構法計画運営委員会)		委員長名：松村秀一 主 査 名：南 一誠
設 置 期 間	2008 年 4 月 ～ 2012 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各部構法の実態の現状を把握し問題点を整理する。さらに、先進的、特徴的な構法を用いた建築物の見学会を実施する。 ・ 多様化する各部構法において、時代を反映した各部構法を取り上げ、その変容過程を明らかにする。特に改修構法に着目し、構法としての成立要件を求められる要求条件の変化 (価値向上の違い) から探る。 		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有		
	角田誠(首都大) 小見康夫(東京都市大) 名取発(東洋大) 池尻隆史(東理大) 大島隆一(小山高専) 太田昭夫(OT 住宅研究室) 岡路明良(鹿島) 門脇耕三(首都大) 信太洋行(東大) 南一誠(芝浦工大) 村上心(相山女学園大) 熊谷亮平(東理大) 奥村誠一(青木茂建築工房)		
設置 WG (WG 名：目的)			
2011 年度予算	190,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://news-sv.aij.or.jp/keikakusub/s2/	

項 目	自己評価
委員会開催数	6 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 改修構法に関する公開勉強会を通じ、これからの時代において改修構法を研究対象とする意味、さらに改修構法が新規建築物に与える影響の大きさなどを多角的に明らかにできた。
委員会活動の問題点・課題	<ul style="list-style-type: none"> 1. より積極的な活動を進めるべく、委員の交代、公募を行う。 2. 勉強会、見学会、講演会の記録化を通じて、貴重な情報の共有化、資料の散逸を防ぐ。